

能登半島沖不審船 対処の記録

木村康張 著



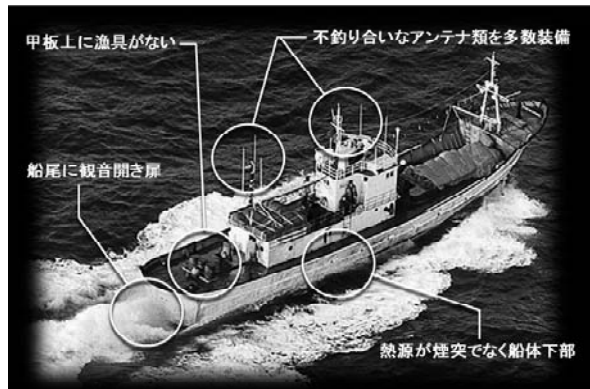
巡視船から警告射撃を受ける不審船

P3-C哨戒機機長が見た真実と残された課題

四六判ソフトカバー248頁 本体 2,000円 ISBN978-4-8295-0825-1

平成11年（1999年）3月、戦後日本初の「海上警備行動」が発令された！海上保安庁、海上自衛隊、そして永田町・霞ヶ関……あの時、何が出来て、何が出来なかったのか現場には、それぞれの立場で与えられた「使命」を果たそうとした男たちがいた！

克明な記録に基づく迫真のドキュメント



機上で確認した漁船とは異なる不審船の特徴

不審船の兆候探知から発見、海上保安庁巡視船の追跡、海上自衛隊の対処と海上警備行動発令から終結まで……20年以上経たいま、海上自衛隊P3-C哨戒機機長として現場の真っ只中にいた著者が、すべてを明らかにする。

これは「過去の話」ではない！
あの時の教訓から何を学ぶのか？



プロローグ	1. 日本人拉致と不審船
第1章 兆候……発見	1. 消えた工作母船と不審電波
	2. 不審船を探せ！
	3. 偽りの船名
第2章 追跡	4. 不審船は北朝鮮工作船？
	1. 巡視船、四六年ぶりの警告射撃
	2. 海上保安庁のみでは対応できない！
	3. 早くしないと逃げられてしまう……！
	4. 目標が停止しました
第3章 海上警備行動の発令	1. 行くときには俺が行く！
	2. 不審船に命中させてはならない
第4章 航空部隊による警告爆撃	1. 一五〇kg対潜爆弾を抱いて
	2. 不審船の注意を本機に引き付ける！
	3. 不審船捕獲の「漁網作戦」
第5章 海上警備行動の終結	4. 北朝鮮戦闘機の飛来
	1. 虚脱と緊張の狭間で
	2. 終焉へ
	3. 凧いだ海
第6章 残された課題	1. 議論は国会の場へ
	2. 解決された課題と残された課題
	3. 再び現れた北朝鮮工作船
エピローグ	1. 緊張の海
	2. 軍事機能の認められない警察機関と警察権の認められない自衛隊
	3. 多様化する任務と広域化する活動海域



P-3C哨戒機 (海上自衛隊)



違法操業の北朝鮮漁船に放水する海保巡視船

12月上旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 11月22日（月） です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
能登半島沖不審船対処の記録		
12月新刊 本体 2,000円	部	